



医療法人社団
友和会広報誌
[フリーダム]



「自由・責任・活動 そして大切に思う心」

2024. July

VOI.
3



Photo by Tomonori Kaneko

給食 今むかし

食事のアンケート

自分メシ ステップ1

友和病院の理念と精神科作業療法

理事長、かく語りき。

「リスペクト」

ふらっとハーバー

デイケア叶えです！

診療時間等ご案内



医療法人社団 友和会
yuwa medical corporation

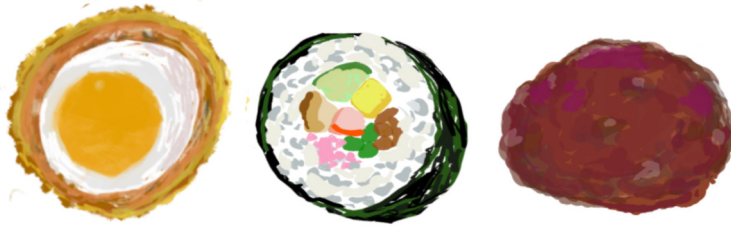


HP



Instagram

「給食 今むかし」



友和病院に就職してから約40年が過ぎようとしています。

管理栄養士として友和病院へ初めて出勤して驚いたのは、出来あがった料理の材料が大きくカットであったこと、そしてすごいボリューム。それまでは特別養護老人ホームで仕事をしており、材料は小さめにカットしてあり量も少なかったので、その差に驚いたのです。

その頃の患者さんの平均年齢は若くて、老人ホームの利用者さんしか接していない私は新鮮でした。厨房は夏は暑く冬は寒い環境でしたが、調理するところを患者さんが窓越しに見ることもでき、そこでいろいろな要望を聞くこともありました。

当時のメニューは手作りのものがほとんどでした。ハンバーグ、スコッチエッグ、コロツケ、トンカツ、いなりずし、おはぎ、そのほかいろいろな料理がすべて手作り。その頃は常食の方がほとんどで、現在のようにソフト食やきざみ食等、複雑な形態の患者さんはおられなかったために、手作りの食事を提供できたのだと思います。

花見の時はお弁当を作ります。巻きずしは仕出し屋さん注文してありましたが、だし巻き卵や、鶏のから揚げ、ほうれん草の胡麻和え、ポテトサラダ等すべて手作りで、その日は少し早めに全員で準備していました。弁当を持って一部の患者さんですが、平和公園や岩倉温泉等遠出して花見を楽しまれていました。長期入院されている患者さんの中には、あの弁当が食べたいと話される方もいます。

夏には夏祭り。夏の暑い日にみんなで準備し楽しみました。秋の運動会では手作りのむすび弁当、お正月には元日から巻きずしを巻いて正月らしいメニューを。開院記念日は刺身と紅白饅頭など、行事ごとの食事にさらに力を入れていました。

時を経て、病院が建て代わり、厨房も衛生的にかなり改善されましたが、昔のように窓越しに患者さんと話すことがなくなりました。患者さんも高齢化し、認知症棟も出来て、食事形態が煩雑にもなってきました。そして約10年前から委託会社で給食を提供するシステムへと変わりました。昔も今も変わらず人気なのは麺類、カレーライス、味のついたご飯（炊き込みご飯や炒飯、ちらし寿司、丼物等々）ですが、ほぼ毎日、昼食時には病棟をラウンドして食べる状況や患者さんからの要望を承り、同時に「食事の意見箱」の回収もしています。また月に一回の栄養教室を、食事のことや雑談も含めて開催し、その時にも食事の要望を聞かせていただいています。

患者さんからの要望は給食会議などで委託会社の方へお伝えし、給食に反映させていただいています。また、患者さんが喜んで食べられた時なども委託会社の方に報告しています。作る側としては、やはり患者さんの反応は知りたいでしょうから。

これからも患者さんに喜んでいただける食事を安全に提供していきたいと思っています。

（管理栄養士・林 千代子）

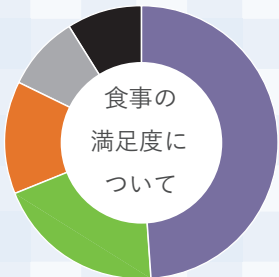


2001年ごろの仕事風景

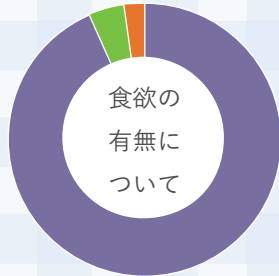
栄養給食課より

嗜好調査を実施しました

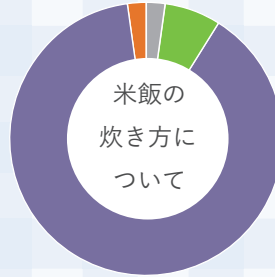
友和病院では、嗜好調査を年に1回実施しています。これにより、食事に対する意見や喫食状況を把握し、より良い食事の提供を目指しています。調査の内容は「食欲はあるか」「主食について」「おかずについて（喫食状況、温度、味付け）」「残す理由」「好きなメニュー」「おやつについて（おやつは食べているか）（どんなおやつを食べているか）」「食事の満足度」、そのほか食事に関する意見の聞き取りを行なっています。



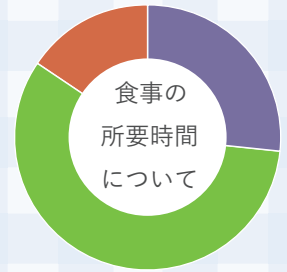
満足 49%
 やや満足 20%
 普通 13%
 少し不満 9%
 不満 9%



ある 93%
 普通 5%
 ない 2%



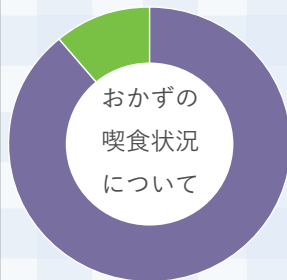
丁度良い 89%
 やや硬い 7%
 硬い 2%
 やや軟らかい 2%



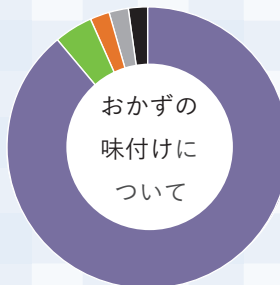
10分以内 27%
 10～20分 58%
 20～30分 15%

管理栄養士からの一言

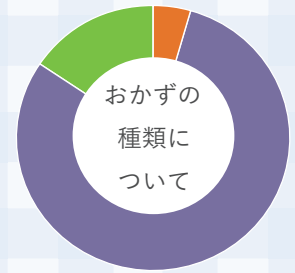
今回は2階病棟の入院患者さん56名中45名（平均年齢64.8歳）の回答集計結果を掲載しました。これらの結果を踏まえて日々の献立に反映し、より良い食事が提供できるように努力していきたいと思えます。人気のメニューは今年も、麺類、丼もの、カレーでした。



ほとんど食べる 89%
 半分以上食べる 5%



丁度良い 89%
 やや濃い 5%
 濃い 2%
 薄い 2%
 その他 9%



普通 80%
 少ない 5%
 多い 2%

忙しい時も、自分に栄養 自分メニュー ステップ1

健康は食事から。手軽に栄養が摂れる「簡単味噌汁」のレシピを、管理栄養士が紹介します。ステップ1の今回は、コンビニ等で販売されている「肉入りカット野菜」を使います。



《材料》1人分

- ・水 …… 150ml
- ・だしの素 …… 小さじ1/2
- ・肉入りカット野菜 …… 30g
- ・味噌 …… 大さじ1

《作り方》

- ①耐熱容器に水、だしの素、カット野菜を入れる。電子レンジ600Wで2分加熱する。
- ②味噌を入れて溶かす。
- ③再び電子レンジに入れ600Wで1分加熱すれば完成！

味噌の主原料となる大豆は良質なたんぱく質を多く含む食品です。味噌は発酵によって大豆にはない、または、あっても少量のアミノ酸やビタミン等が多量に生成されて、栄養的にさらに優れたものになっています。**1つの食品でこれほどたくさんの栄養を含むものは他にありません。** ご飯+味噌汁の組み合わせでいただきたい栄養バランスはとれますよ。



友和病院の理念と 精神科作業療法

友和病院 リハビリテーション室

これまで当院の作業療法の様子を掲載していましたが、今回は当院の理念と精神科の作業療法について説明させて頂こうと思います。

当院の理念は『自由』、『活動』、『責任』、『大切に思う心』ですが、これらは作業療法を含む治療的介入の基礎になります。医療は強制的になりやすい側面もあり、『自由』が制限されやすく、病气によって当たり前だった『活動』も難しくなります。そういった方へ『大切に思う心』を持ち、受容と共感をしていく事から治療的介入が始まります。社会構造としても、法治国家では『責任』を果たす事で『自由』が担保されるので、『責任』の無視はできません。また、障がい者は支援を必要とするものの、『責任』を果たす能力のない弱者であると決めつけ、『責任』を果たす権利を奪う事は障がい者差別にも繋がります。

作業療法はリハビリテーションの1つで、始まりはヨーロッパの道徳療法※1とされています。日本へは1900年頃に呉秀三という精神科医によって導入され、拘束・監禁されていた精神障がい者を開放し、作業を通して病状の回復と社会参加を促進しました。作業を専門的に用いる事が治療的介入になると立証され1965年には国家資格となり、今では色々な場所で作業療法士が働いています。その中でも精神科分野は歴史的影響

を他の分野と比べ大きく受けてきました。戦後の影響もあって1960年代に精神科病院は多く建てられました。その中で入院機関ではなく隔離収容となるような病院が出てきたのです。治療の名の下、入院中の方に内職をさせるなどの使役、収益の剥奪、人権侵害など多くの問題が引き起こされました。作業療法（この頃は生活療法※2と呼ばれた）と称し、入院中の方を集団管理したり労働力にしたりと、治療的介入をすべき精神科医療が失われていた時代です。1990年頃からようやく法律も見直しがされ始め、現在では医療、リハビリテーション、福祉は進歩して作業療法も本来の形に戻り、本人の希望に沿う治療や支援が重要視されてきました。

しかし、精神疾患自体の治療や支援の難しさと共に、未だ根深く残る偏見等の社会的な障壁により、未だに長期入院の方が多い状況です。地域生活を見据えた包括的な視点も必要で、退院後も様々な専門職や機関が関わりますが、各々の専門性や役割も違うため、治療的介入の基礎を共通理解しておかないと、論点や介入手段がずれて治療的介入に至りません。基礎をすっ飛ばして応用をやるうとしてもできない事と同じでしょうか。日本の精神医療保健福祉分野は、まだまだ課題の解決に取り組んでいる最中と言えます。

当院は医療機関なので作業療法も退院

支援が目標になりますが、退院はゴールではありません。本人の人生にとっては地域生活のスタートです。入院中の方は、社会で生活する我々が当たり前にしている事、普段気にもしないような事が、病气や社会から隔絶された環境によりできなくなっています。作業療法は万能ではありません。作業療法は万端ではありませんが、治療的な変化を促せられる数少ない手段の1つであり、ほんの小さな変化が大きな変化へと繋がっていきます。当院の作業療法では、当たり前の事を当たり前に経験する、感じられるように治療的介入をしています。

当院の理念が治療的介入の基礎というのは、リハビリテーション理論に当てはめたもので理念に包括される全ての要素を語ってはいけません。ただ言えるのは、精神障がい者を取り巻く劣悪な時代の最中に、治療的介入を理念として設立された当院のような病院も存在するという事です。このような精神科病院が精神障がい者への働きかけを今後も根気強く継続していく事こそ、日本の精神医療保健福祉分野にとって重要になると考えますし、当院の作業療法もその一端を担えるよう、理念を胸に留めて多くの方と関わっていかれたらと思います。

(作業療法士・藤高剛)

※1道徳療法：19世紀前後にビネラらによって精神病院に導入された。人道的処遇や非人道的な扱いからの擁護、楽しみを含んだ規則正しい生活や自律的な行いを指導するもの。

※2生活療法：「くらし療法」とも呼ばれた。生活指導、レクリエーション療法、作業療法を総括したものとされ、管理的な生活指導を中心とした考え方だった。

作業療法だより③

皆で、院内の桜を見に行きました。



1

満開で、どの木も綺麗に咲いていました。



2

「リスペクト」



リスペクトという言葉が日本でよく使われるようになったのは、2000年代初め頃と言われている。英和辞典で訳語を見ると「尊敬、敬意、尊重」など、目上のお偉いさんに対する態度を示す言葉が並んでいるが、この頃から言われ始めた「リスペクト」のニュアンスは少し違っていった。「対等な人間同士が、お互いを尊重し、敬意を持つ」という意味合いが強い。

“respect you.” と言えば、武者同士なら、「お主、できるな。」と言うところであり、最近の若者なら「お前ってホント、スッゲー奴だな！」と言っのたろう。

“respect” がこのような意味合いを持って口にはされるようになってきたのは、アメリカにおいても最近のことらしい。その発祥は1970年代にニューヨークのブロンクス地区で生まれた《ヒップホップ》であるという。ブロンクス地区はストリート・ギャングたちの抗争の絶えない貧民街であったのだが、そこに暮らす若者たちの中から、自らのアイデンティティをラップミュージックやブレイキン（＝ブレイクダンス）、アート等の形で表現し、競い合う文化が花開いた。彼らの核的な価値観が“respect”で、その価値観はヒップホップとともに、瞬く間に

全世界の若者たちに広まった。社会的、経済的に恵まれない若者たちの中から、この価値観が生まれたことの意味は大きい。

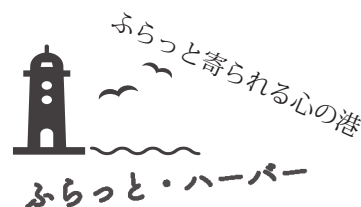
2012年頃、友和病院開設以来掲げてきた「自由、責任、活動」の基本理念を見直す必要を感じた時、このリスペクトという言葉が浮かんだ。我々はまず何よりも患者さんをリスペクトしなければならぬし、患者さんたちはそれに値する人たちである。それを何かに見る気持が、我々ありはしないか？と言う懸念があった。私達に今必要なのは、この新しい意味をまとった respect だ、と思ったのだ。

この新しい時代の respect を、一言で表現できる日本語はないか？

私と同じようにそれを真剣に考えていたのが、日本サッカー協会（JFA）だった。JFA は、フェアプレー精神の根源は「リスペクト」であると捉え、「大切に思うこと」という日本語を宛てていた。

これこそ私が求めていた表現だと閃き、「大切に思う心」が、基本理念の第4の柱として加わったという訳である。

（理事長／医師 末田 格）



ふらっと・ハーバーは、「退院・退所した後地域で集まる場が欲しい」という利用者さんらの呼びかけで、2011年1月に始まりました。主な活動としては、夕食会を毎月第3土曜日の16時から19時まで、あいプラザで開催しています。

名前の由来は、「ふらっと」立ち寄れる「ハーバー」（港、船着き場）から来ています。

すでに地域で自立生活をされている方や、グループホーム等から自立生活を目指している方、それをサポートしている支援者等、毎回15名程度の参加があります。夕食を食べたり、会話を楽しむ以外にも、相談支援事業所や作業所、グループホーム等、地域で働く支援者も参加していますので、ちょっとした困りごと等の相談ができたりもします。

夕食会という性質上、コロナ禍においては開催できない期間が長く続きましたが、食事を伴わないフリースペースでの再開を経て、コロナが5類になる前の2022年5月から食事の提供も再開しました。コロナ禍で散々聞かされた「不要不急の外出を控える」ことの中に、この集いも含まれるのかを関係者で話し合った結果、「不要ではない」という結論に至り、「感染対策に配慮して再開する」方向で舵を切りました。

家庭（ファーストプレイス）でも職場や学校（セカンドプレイス）でもない、気ままに自分の気持ちに応じて選択できる場所（サードプレイス）の一つとして、この集いが参加する一人ひとりの心の拠り所になれば良いかと願っています。

参加費 500 円▶開催予定▶7月20日（土）：山崎本社みんなのあいプラザ▶8月17日（土）：山崎本社みんなのあいプラザ▶9月21日（土）：場所未定▶10月19日（土）：場所未定▶11月16日（土）：山崎本社みんなのあいプラザ

参加ご希望の方は事務局へご連絡ください。ふらっと・ハーバー事務局：エスペランサ（担当：宮地） ☎（0829）74-1106

廿日市エリアより



ピースウィング広島
ピッチやVIP席を堪能してき
ました!

精神科デイケア
かな
叶えです!



叶えにも来てくれた香川さんの
ライブに行きました!



叶えから車で5分の cafe flowry



暁(あかつき)のお二人のライブ。
ボランティアのお申し出ありがとう
ございます♪



コロナが第5類となり早1年が経ちました。感
染対策は引き続き気を付けているものの、やはり
気持ち的には軽くなり、季節も相まってデイケア
内のプログラムも外出系プログラムが増えていま
す。

お花見を始め、近隣のカフェ巡り、ピースウ
ィング広島への見学や広島市内外出とメンバーさん
も職員もウキウキしながら外出を楽しんでいま
す! 外出はちょっと…という方も室内でできる体
操や創作活動、雑談やカラオケ等をしながらリ
ラックスして過ごされています。今は創作活動で
新たな取り組みも始まっています。次回は完成品
をご報告できるかと思っておりますので楽しみに!!

診察時間等ご案内

《旧佐伯町エリア》 〒738-0202 広島県廿日市市峠字下ヶ原500

・友和病院 ☎ 0829-74-0688
8:30~17:30 (日祝休業)



		予約優先制						
		午前の部 9:00-12:00 (受付 11:30 まで)				午後の部 14:00-16:00 (受付 15:30 まで)		
		月	火	水	木	金	土	日
精神科	午前	○	○	○	○	○	予約	—
	午後	予約	予約	予約	予約	予約	予約	—
内科	午前	○	—	—	—	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—
歯科	午前	—	○	—	○	—	—	—
	午後	—	—	—	—	—	—	—

・訪問看護ステーション
「ゆうわ」 ☎ 0829-40-0822
8:30~17:30(日祝休業)

・共同生活援助事業所エスペランサ ☎ 0829-74-1106
・短期入所事業所エスペランサ 8:30~17:30(日祝休業)
・相談支援事業所エスペランサ

《廿日市エリア》 〒738-0033 広島県廿日市市串戸4丁目2-16



・串戸心療
クリニック ☎ 0829-30-6014
受付: 8:45~17:30

・デイケア叶え ☎ 0829-30-1900
9:00~15:00(木日祝休業)

		完全予約制 … 午前の部 9:00-12:00 (受付 11:30 まで)						
		※水曜日 9:30-12:30 (受付 12:00 まで)						
		午後の部 15:00-18:00 (受付 17:30 まで)						
		※水曜日・木曜日 14:00-17:00 (受付 16:30 まで)						
		祝祭日休診 (日曜日が祝祭日の場合は診療、翌月曜日を休診とする)						
		月	火	水	木	金	土	日
午前	○	○	○	○	内科のみ	○	○	○
午後	○	○	○	○	内科のみ	○	○	○
デイケア	○	○	○	○	—	○	○	—

・訪問看護ステーション
和み ☎ 0829-30-8915
8:30~17:30(日祝休業)

